

斎藤清

祈りの形象学

フォルモロジー

埴輪、桂離宮、そして奈良の古寺に伝来した御仏の像たち。日本の歴史的遺物は、斎藤清にとって重要なモチーフです。特に1950年代の作品は、日本現代版画のアイコンと目されるほどアメリカをはじめとする海外で高い評価と人気を得ました。一方で、日本の古きものに抱いた斎藤の関心は、あくまでも同時代の抽象美術に通じる造形にありました。そのため、芸術理念や表現が多様化し、斎藤自身の中でも絵画の抽象性に対する思考が深化するにつれ、京都の古建築や考古物は、主要な題材ではなくなっていきます。その中にあって、途切れることなく制作し続けたのが、仏像や仏教的イメージです。このことは、斎藤にとってこれらを描く理由が造形上の問題で終わらなかったことを物語っています。実際画業をたどっていくと、斎藤清の聖画ともいうべき、独自の展開をしていくのです。本展では、代表的作品である《慈愛》シリーズをはじめ、当館が所蔵する初期から晩年にいたる木版画、墨画の名品の数々を一挙に紹介、斎藤清がそれらに何を見、何を託したのかに迫ります。

様々な印相から生み出した、

唯一無二の慈愛の手

2025年 4月12日[土]-6月15日[日]

9:00~16:30 (入館は16:00まで)

休館日／月曜日(ただし、4月28日(月)、5月5日(月・祝)は開館、5月7日(水)休館)
観覧料／一般510円(410円)、大学生・高校生300円(200円)、小中学生無料
※()内は15名以上の団体の場合

アクセス 東北道→磐越道→会津坂下IC→R252を只見町方面へ5km(道の駅 会津柳津内)
東京駅(東北新幹線)→郡山駅(磐越西線)→会津若松駅(只見線)→会津柳津駅
〒969-7201 福島県河沼郡柳津町柳津字下平乙187
☎0241-42-3630 bijutsu@town.yanaizu.fukushima.jp

主催／やないづ町立斎藤清美術館

後援／福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、エフエム会津、喜多方シティエフエム、只見川電源流域振興協議会、奥会津五町村活性化協議会、只見川ライン観光協会、恒上の会津プロジェクト協議会



表／《慈愛図屏風(各家が)》1976年 紙・墨・淡彩
右頁／《炎(B)》1978年 紙・木版
左頁／《慈愛》1975年 紙・木版

火焰の中に浮かぶ木目

聖なるものの化身たる、

